

○国立大学法人埼玉大学研究機構生命理工学連携研究 センター規程

〔令和元年6月27日〕
規則第12号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人埼玉大学研究機構規程第4条第4項の規定に基づき、生命理工学連携研究センター（以下「センター」という。）に関して、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、国立大学法人埼玉大学（以下「本学」という。）における研究拠点として、生命科学分野での基礎・応用研究の推進を図るため、生命科学、理学及び工学的見地から生命機能の解明及び産業への応用並びに生命機能の破綻に起因する疾患の発症機能等に関する研究を推進し、その成果の社会への還元を目指すことを目的とする。

(部門)

第3条 センターに、次の部門を置く。

- (1) 生命機能研究部門
- (2) 生命科学関連技術開発部門

(業務)

第4条 部門においては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 生命機能研究部門 各種器官系における生命機能の制御機構の解明とその応用に関わる研究
- (2) 生命科学関連技術開発部門
 - イ 生命科学研究の推進とその応用に資する新技術の開発
 - ロ 生命機能の破綻に起因する疾患の病態・原因の解明及び診断に関する新技術の開発

(組織)

第5条 センターに、次の教職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 兼任教員
- (3) その他の教職員

2 前項に定めるもののほか、副センター長を置くことができる。

(センター長)

第6条 センター長は、本学の専任教授をもって充て、学長が委嘱する。

- 2 センター長は、センターの管理運営を掌理する。
- 3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が生じた場合の後任のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。
(兼任教員)

第7条 兼任教員は、生命科学分野及び関連分野での基礎・応用研究並びに技術開発などに関する専門的知識を有する本学の教員のうちから、学長が委嘱する。

- 2 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、兼任教員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
(センター会議)

第8条 センターに生命理工学連携研究センター会議（以下「センター会議」という。）を置き、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 運営の具体的方策に関する事項
- (2) 自己評価に関する事項
- (3) その他センターに関する事項

第9条 センター会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 兼任教員のうちから、センター長が指名する者
- (3) その他センター長が必要と認めた者

第10条 センター会議に委員長を置き、センター長をもって充てる。ただし、センター長に事故あるときは、センター長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

- 2 委員長は、センター会議を招集し、その議長となる。
- 3 センター会議は、委員総数の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 議長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第11条 センターの事務は、研究協力部研究推進課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和元年7月1日から施行する。

- 2 この規程施行後、第5条第1号及び第2号に規定する最初の教職員の任期は、第6条第3項又は第7条第2項の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。
- 3 この規程は、令和6年3月31日限り、その効力を失う。